

目次

2

29 年度のスタートにあたり
(岩田支部長)

3

29 年度
支部・本部総会報告



29 年度支部総会

5

サポート隊ボランティアの日

7

各部会活動 文化部・研修部・健康部・地域活動部

12

地域ミーティング・地域活動に活躍されている会員を訪ねて

16

会員投稿 エッセイ、俳句・川柳
わが町の歴史（膳所）

20

会員動向・編集後記

主
な
行
事

▶生涯学習フェスティバル

日 時：平成 29 年 9 月 23 日（土・祝） 10 時～15 時

場 所：皇子が丘公園体育館

▶レイカ大津の集い…38 期新入会員歓迎会を兼ねて

日 時：平成 29 年 10 月 24 日（火） 13 時～16 時

場 所：大津市生涯学習センター

皆様のご参加をお待ちしています！

29年度のスタートにあたり

支部長 岩田 和彦（32期 陶芸・志賀）

佐瀬前支部長よりバトンを受け、会員皆様方の「お知恵」と「お力添え」を戴き、お陰様を持ちまして無事1年目の活動を終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

また、支部総会・本部総会では多くの方に出席いただき、同窓会活動に深い情熱とご理解を賜り心強く感銘している次第でございます。

2年目のスタートにあたり、前期の反省と今期の活動計画について下記に申し上げます。前期の目標としておりました「会員確保」と「活動参加者増」につきましては、誠に残念ながら会員数は30名の減となりました。

従前同様に直近(33期～37期)卒業生の退会が多く見受けられます。体調不良・ほかで多忙・役員とのコミュニケーション不足・役員になりたくない等の理由を確認しています。「会員とのコミュニケーションのあり方」についてもう一步の工夫と徹底がいるように思います。そして38期卒業生（市内在住者36名、前年同数内22名入会）の入会促進に全力を傾けなければなりません。

「活動参加者増」につきましては、役員のご努力で様々な創意工夫により多くの参加を頂きました。市社協よりの新しい活動にもこぞって参加いただいたことや、今まで参加されていない会員・在校生・市民への呼びかけ、部会間のコラボ等新たな取組もでき「ふれあい・支えあえる風土」になってきたように感じます。その証左として先の「地域活動調査」では、なんと90%近く of 回答を頂きました。

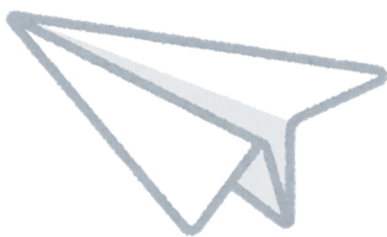
29年度活動計画につきましても、前期目標課題を継続し、より深耕させたい。

本部活動方針は基より、特に在校生への活動案内と38期卒業生の加入促進、関係団体(大学、サポート隊、えにしのか、県庁・市役所、県社協・市社協等)との連携に組織として取り組みたい。その為に、皆様方の能力の発掘で活動の幅を拡げ、タイムリーな双方向の情報共有が求められます。「かけはし」や「ホームページ」でご活躍の様子を紹介したり、連携先の活動をお知らせすることでより多くの活動に参加いただける一助になればと考えています。

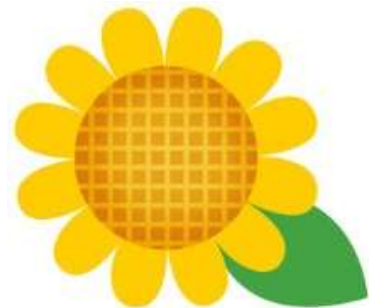
当年は節目の40期生募集を迎え、母校の発展に皆様のお力で定員確保が叶いますようお願いを致します。

レイカ大津の会報誌「かけはし」

この1年、何よりも会員皆様の「健康で元気に活動！」が第一で、次に「レイカディアシニアの心意気！」の発揮、そして「居場所と出番！」があり、ありがたい姿「人は勝手に集まる！」集団を創造し、みなさんと一緒に一歩でも活動を前進させられるようお願いばかりです。



レイカディアえにしの会機関誌「紙飛行機」



大津市社協ニュース「ひまわり」

平成29年度 第33回大津支部総会 報告

第33回大津支部総会は、平成29年4月20日午後1時30分より、出席者78名、委任状提出者148名、合計226名の参加により、レイカディア大学草津校大教室にて開催されました。

司会の安田照美氏(皇子山地区)により、28年度の逝去者4名への黙祷、レイカディア讃歌斉唱と続き、岩田和彦大津支部長の挨拶の後、来賓の挨拶を植田重一郎様(県社協人材部門長・レイカディア振興担当課長)から頂きました。

議長に釜淵佳明氏(膳所地区)が選出され、出席者に委任状提出者148名を加え、会員253名の過半数を超え、総会の成立が宣言されました。

総会議案書に基づき5議案について審議がなされ、全議案が賛成多数を持って承認され、支部総会は無事3時前に終了しました。(尚、詳細については配付済みの総会議案書を参照ください)

最後に、事務局次長の交代が発表され、旧任の河嶋文雄、新任の釜淵佳明両氏の挨拶がありました。



写真は左上から時計回りに、受付光景・司会の安田さん・支部長・荒木監査役・釜淵議長・植田様



平成29年度 本部総会 報告

5月13日13時より、レイカディア大学同窓会本部総会が滋賀県立長寿社会福祉センター大教室で開かれました。大津支部からの出席者47名を含め124名の出席がありました。

開会の言葉、物故者への黙祷、レイカディア讃歌斉唱、堀江会長挨拶、長寿者慶祝〔対象者29名、大津支部から佐瀬敏郎(瀬田一里山)、藤田政一(堅田)両氏の2名が該当、当日欠席〕、来賓祝辞(レイ大学長 渡邊光春氏、県医療福祉推進課長 岡野和薫氏)があり、議案審議に移りました。会則の一部改定案等、5議案は原案通り賛成多数で承認され、15時前に終了しました。



堀江会長挨拶



長寿者(米寿)慶祝



渡邊レイ大学長祝辞

15時からの記念講演では永年長浜城歴史博物館に勤務され、現在は成安造形大学、文教短期大学非常勤講師である中島誠一氏より「一代の英雄・秀吉と近江」と題し、秀吉が一国一城の主になった初めての地・長浜における町作りを中心にしながら、秀吉が残した有形無形の文化遺産についてエピソードを交えたお話を聞きました。笑いを誘う話しぶりに思わず聞き入ってしまい、気づけば1時間半の講演は終了していました。



サポート隊ボランティアの日に参加

大口 正勝（36期 地文・堅田）

5月26日（金）に希望が丘文化公園で開催された「サポート隊ボランティアの日」に、大津支部から岩田支部長はじめ5名が参加した。このボランティアの日は、レイ大建学の精神である社会貢献活動と卒業生と在校生の交流を目的としたレイ大サポート隊の最大イベントで、午前中2時間弱の雑木搬出作業と昼からのバーベキューによる懇親会で構成されていた。

当初予定の25日であれば200名の参加が見込まれていたが、雨で順延され総勢114名での作業となった。希望が丘の「憩いの森」付近で、伐採された木の枝や丸太をトラックに積み込む作業で汗を流した後は、バーベキューに舌鼓を打ち、交流の輪が広がった。



2017 草津校大学祭ステージ演芸の案内

今年も8月3日（木）10時～15時で開催されます。ステージ演芸では大津支部から日吉地区の和田さん他同期4名と皇子山地区の清水さんが「ヨシ笛演奏」で出演されます。また甲賀・湖南支部からは、新支部長に就任された鈴木さんはNHK「民謡フェスティバル」出場の腕前で「民謡」を3曲、前年の地域活動事例発表会で好演された高田さんが「みんなで歌おうレイカディア」で各々出演されます。是非多くの方々のご観覧をお願いします。

在校生の展示発表は8月2日（水）、3日（木）、4日（金）の3日間開催されています。



写真は去年の模様

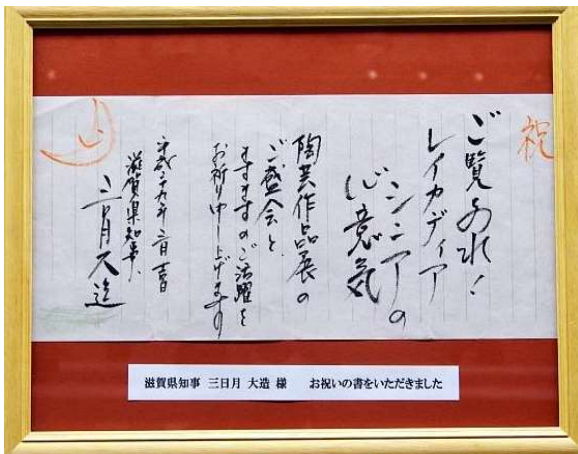
第3回レイカディア大学陶芸作品展

実行委員会顧問 支部長 岩田 和彦

3月30日～4月2日の間、草津クレアホールにて開催されました。

15期～38期の有志により、出品者176名、出品数698個、観覧者数833名で、前回は上回る大盛況で終わりました。皆様にもご高覧賜りありがとうございました。

会場を変え、会期短縮の影響もなく、作品は多種多様で従来に増して素晴らしく華やかな展示会でした。隔年の開催で3回目を終え「焼きものの繋がり」でレイカディアの外部発信と継続発展ができましたのは、三日月知事より激励に戴いた「祝 レイカディアシニアの心意気」が、いかに発揮できたことを嬉しく思うばかりです。



[部会便り]

「健康部」

～たのしく なかよく 元気よく！～

研修部・健康部合同企画「湖族の郷を巡る」歴史探訪ハイキング参加報告

安田 照美 (33 期 地文・皇子山)

3月23日午前10時、湖西線堅田駅に集合し、湖族の郷として知られる堅田の歴史探訪ハイキングに出発。当日は春の訪れが感じられるまずまずの好天で、26名の参加者が予定の6キロ余を和やかに談笑しながら完歩しました。

主な訪問先は湖族資料館、伊豆神社、浮御堂、祥瑞寺、本福寺、居初邸、出島灯台。湖族資料館では写真の細川名誉館長から説明を頂き、本福寺では、『親鸞・蓮如連坐像』を特別に見せて頂きました。



永尾さんは詳細な関連資料を全員に配布された上、いつもながらの完璧なガイド役を務めて頂き、古の堅田の賑わいに思いを馳せる一日となりました。

湖畔はまだ風が冷たかったのですが、「堅田なぎさ苑」という市の施設が昼食用に予約されており、暖かい室内でホッと一息できました。



第1回グラウンド・ゴルフ大会報告

上野 正男 (34 期 地文・瀬田)

スポーツを通じて健康と地域とのコミュニケーションの活性化を図ることを目的とし、同会会員に限らず多くの参加者を募り、本年度第1回の行事として5月12日午後1時30分よりびわこ文化公園多目的広場においてグラウンド・ゴルフ大会を実施しました。参加者は40名。

当日は五月晴れの素晴らしいお天気でゲーム中は少し高めの気温で、用意した冷やしたお茶もなくなり、全員怪我もなくみなさんお元気で久しぶりにお出会いされた方もおられ、歓談をしながらホールインワン、バーディー、4打、5打と一喜一憂歓声をあげながら和気あいあいと最後までプレーを楽しめました。

優勝：21期 園芸 横川晴一さん、準優勝：29期 文芸 大坪賢一さん、三位：32期 健レク 松岡克実さん



荒堀部長から優勝賞品を受け取る横川さん

《お知らせ》 第1回ディスコン大会 7月17日（月・祝）9時30分から 膳所市民センター

平成 29 年レイカ大津支部作品展

会期：4月21日（金）～4月23日（日）

場所：大津市生涯学習センター1F ギャラリー

今回の出展者は37名、出展数78点の力作を出展して頂きました。このうち瀬田地域の91歳（8期・生活）の方にも出展して頂きました。多くの方が出展を期待されていた37期生の方はありませんでした。昨年と同じような規模ではありますが222名の方々にご来場頂きました。

開催の初日にZTVの報道取材があり作品展の様子が放映されました。又、レイカディア大学同窓会のホームページ担当者の方の取材もありホームページに掲載されておりますので来場出来なかった方々にご覧いただければ幸いです。



平成 29 年第 1 回市民陶芸体験講座

開催日：5月19日（金）午前9時半～午後3時

場所：大津市生涯学習センター 美術工作室

受講者は数名の欠席者が有り19名となり、講師の方12名で開催しました。

平成22年に中野清さん（24期 陶芸・田上）が中心となり、市民参加型としてスタートして今回で14回目の開催となりました。支部会員の皆様が丁寧に楽しくお手伝い



する事で、評判も良く、毎回この企画を楽しみに

している方もおられます。又、新しい参加者もおられいつも定員をオーバーしております。

今回のアンケートからも親切な指導等、講師の方々への多大な感謝の声が寄せられており、ご協力頂いた会員の皆様に御礼申し上げます。



研修部・健康部合同企画『湖族の郷を巡る』歴史探訪ハイキング

大口 正勝（36期 地文・堅田）

曇天の3月23日、JR堅田駅に26名が集まりました。山頂にたっぷりの雪を抱いた比良連峰が我々を迎えてくれました。はじめに健康部の荒堀部長の指導でストレッチ運動をしたのち、10時に出発。この日の説明役は永尾研修部長にお願いしました。

先ず出発点付近で駅西方の春日山古墳群と駅前の志賀酒家淡海顕彰碑の説明を受けた後、20分ほど歩いて湖族の郷資料館へ。ここで郷長・細川氏から堅田の歴史を伺いました。堅田には縄文・弥生時代から人の生活の跡が見られ、中世には琵琶湖の地形を生かした強大な湖上権と漁業権を持ち、江戸時代に大津に政治経済の中心が移るまで、自治を誇り大いに栄えていた、ということでした。



浮御堂

この後、堅田の総鎮守・伊豆神社から芭蕉の句碑がある浮御堂を経て、堅田なぎさ苑で昼食休憩となり、皆さん一息つきました。

午後の出だしは、本福寺。永尾さんの説明の後、ご住職の案内で貴重な「親鸞・蓮如連座像」と「方便法身尊号（十字名号）」を拝観させて頂きました。ついでお隣の光徳寺を尋ね、蓮如にまつわる「堅田源兵衛の首」の逸話を学びました。更に近く of 祥瑞寺へ。お彼岸のため、ご住職のお話は聞けませんが、永尾さんから一休禅師修行の経緯などを伺いました。



本福寺（以上2点は平野地区・市吉氏撮影）

この後、天然図絵亭で名高い居初亭を訪れて、琵琶湖を借景にした名園にしばし魅了されました。最後は琵琶湖最古の出島灯台まで歩き、本日の行程を終えました。

一部の参加者は句当内侍の墓がある野上神社まで歩を進めましたが、皆さん良く歩きました。

参加した某氏の感想「堅田にこれほどの歴史があるとは知らなかった。いい勉強になった」。これが多くの参加者のお気持ちだったのではないのでしょうか。



天然図絵亭（ウキペディアから）

「地域活動部」 ～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で！

仲間となら、さらにもう一步踏み出せる
一人でもできる・・・
でも仲間と一緒になら、もっと充実した
時間が過ごせる。気楽に始められて、
長く続けられる活動とは、その魅力は？



私達は、お互いの親睦はかりながら諸活動を通
して地域の社会貢献活動を行っています。
シニアが地域社会を支える側に立って活動する
幸せ、シニアの「生きがい」作りを感じながら
有意義な人生を！

会員の皆様、在校生、サポート隊、一般市民の皆様へ

私達、仲間が喜んでお待ちしております。是非仲間作りに、今一步踏み出してください

◆ まちなか応援活動

1. 「大津まちなかスッキリ土隊」

違反広告物を除去する活動で、大津市まちづくり計画課の講習を受け（推進員身分証明書交付を受領）活動を行います。

- 1) 5月23日（火）に瀬田地域で実施済（13名参加、25枚のビラ剥がし）
- 2) 9月上旬 一斉除却活動実施（大津市まちづくり計画課主催）
- 3) 10月24日 新会員を対象とした講習会を実施（「大津の集い」に合わせて）

2. 「大津祭ボランティア」

400年の伝統ある祭りで、地域住民として猩々山などを中心に「大津祭曳山連盟」と協議しながら、応援活動を行う。（大津祭曳き手、販売係、昼食会場、各案内所、有料観覧席など）

- 1) 6月23日（金）在校生に参加募集案内配布
- 2) 6月30日（火）会員に参加者応募案内配布
- 3) 7月7日（金）参加者人数把握
- 4) 7月中旬 大津祭曳山連盟に参加者名簿提出
- 5) 9月末頃 大津祭曳き手説明会（本祭曳き手）
- 6) 10月初め 大津祭お手伝い関係の説明会（宵宮、本祭）
- 7) 大津祭 山建 10月1日（日）、宵宮 10月7日（土）、本祭 10月8日（日）

3. 大津湖辺の「ヨシ刈」

ヨシ保全事業として大津市環境政策課と地元実行委員会（自治連合会）が平成2年度から取り組んでいます。いずれも冬季実施で11月以降に順次実施日が決定され、情報収集してお知らせいたします。①堅田米プラザ ②石山蛸谷 ③雄琴市民ヨシ刈 ④下阪本 ⑤膳所公園など

4. 「囲碁・将棋対局」出前教室

大津市社会福祉協議会から依頼の現在3ヶ所で実施しています。

①コンソルテ瀬田②真心デイサービス横木店③大津老人ホーム

5. 「NPO 瀬田川リバプレ隊」応援協力

瀬田川左岸京滋バイパス下の堤防を拠点にした「コムラサキシキブ等の花壇づくりと周辺整備」毎月10日10時～

6. 「瀬田川清掃」

今年初めて、地域活動部として取り組む予定です。主催者は、国土交通省瀬田川管理事務所で、実施時期は10月中旬です。実施場所は、同志社大学漕艇庫～京滋バイパス。
詳細については、後日ご案内いたします。

◆小学校応援活動

各地域の副支部長が中心になって小学校応援活動を実施しています。その活動を支援し、活動記録の収集、まとめのお手伝いをいたします。

◆各地域の相談・窓口役

ボランティア活動保険、ボランティアについて随時受け付けます。

比叡地域：奥田耕治 Tel573-5462、中央地域：澤 辰男 Tel522-1929

石山地域：木本修二 Tel533-1714、瀬田地域：山口玄洞 Tel545-6156

レイカ大津 小学校応援活動表（平成29年度 4～5月分）

地域	応援項目	活動学校名	回数	参加者数	内在校生	内協力者
比叡	剪定・同補助	木戸小学校	1	7	0	0
		小松小学校	1	5	0	0
	小 計		2	12	0	0
中央	図書管理	平野小学校	3	15	2	0
	小 計		3	15	2	0
石山	剪定・同補助	南郷小学校	1	9	0	0
		石山小学校	1	7	0	0
	小 計		2	16	0	0
瀬田	校庭花づくり	瀬田東小学校	4	27	3	5
	図書管理	瀬田南小学校	13	17	0	4
	小 計		17	44	3	9
	合 計		24	87	5	9

レイカ大津 まちなか応援活動表（平成29年度 4～5月分）

応援項目	場所・内容	回数	参加者数	内在校生	内協力者
スッキリ士隊	瀬田地域	1	13	0	0
囲碁・将棋対局					
囲 碁	コンソルテ瀬田	2	10	0	4
	長等ほたるの家	6	6	0	0
将 棋	大津老人ホーム	4	4	0	0
瀬田川リバプレ隊		0	0	0	0
	合 計	13	33	0	4

平野小学校応援活動中に 6 年生代表から感謝のお手紙を受け取りました

詫間 秀夫 (31 期 園芸・平野)

28 年度最後の図書整理活動日 (3 月 15 日) に卒業を控えた 6 年生代表 6 名と引率の先生が作業中の我々を訪ねて来られました。こちらも全員揃って生徒達から図書整理活動に対しての感謝の気持ちを記したお手紙を受け取りました。今年で 3 度目となります。

生徒達に対し手紙を頂いたお礼、卒業祝い、中学生になってクラブ活動等を楽しんでくれるよう伝えました。受け取った封筒には手紙が 15 通入っていました。その中の 1 つを紹介します。

レイカディアさんへ

私がレイカディアさんの事を知ったのは、6 年生になってからでした。習字を大会議室でした帰りにお見かけして、図書室を整理してくださっていました。その時はお礼を言えなかったけれど今まで本当にありがとうございました。図書室の本を場所も考えず「ポイッ」と置いてる人もいますが長休みや昼休みに図書室へいくときれいに本がもどっていて読みたい本もすぐに見つかるし図書室がきれいだと集中して読めるのでとてもうれしいです。今まで本当にありがとうございました。そして、これからもよろしく願います♪



比叡地域の地域ミーティング開催

奥田 耕治 (33 期 園芸・志賀)

新年度早々の 4 月 27 日 (木) に比叡地域の 29 年度第 1 回の地域ミーティングを開催いたしました。今回のテーマは地域会員の親睦交流はもちろんのこと、ややもすると固定化しつつある小学校の剪定応援の参加者のすそ野を広げるべく、経験者とこれから参加してみようかと考えておられる皆様方との顔つなぎで、より参加しやすい雰囲気づくりを試みるという思いで計画させていただきました。

色々な行事や地域活動に会員各位ができる範囲で、無理なく気楽に参加して、同窓会員であることの誇りと仲間意識が芽生えれば、今以上に活性化が図れるのではないかと考えでもありました。そのために季節外れではありますが、鍋を囲んで楽しく過ごせればとのことで、シニア料金で廉価に楽しもうと目論見ました。案内から実施まで短い期間で、十分に伝えきれなかったこともあって参加者は 12 名でした。参加された方々は同窓会活動以外の各方面でも活動されていて、話題も豊富で大いに盛り上がりました。趣味の絵画をたのしんだり、スポーツジムで体を鍛えたり、農業を楽しまれたり、障害のある方の治具の制作で社会貢献されたり、また、ある方はレイカディア大学では園芸を学びながら、趣味は陶芸で、マジックで地域活動しながら余暇を東海道五十三次の徒歩での踏破を目指し、現在は箱根あたりに挑戦中とのこと。それに感化された方がひとり藤枝あたりを、もうお一人は四日市あたりをそれぞれ踏破中とか。また、その時々

に迷ったエピソード等など楽しく聞かせていただきました。多様な人生経験をされた先輩方のお話を伺うことなど、地域ミーティングならではの貴重な時間を過ごさせていただきました。それにしても目標を持って過ごされている皆さん方はお元気で、よく食べ、よく飲み、よくお話になることに舌を巻くと同時に、会計を預かる者としてヒヤヒヤものでした。何とか予算内に収まって胸をなでおろした次第です。最後は参加者の紅一点の吉田さんが明るく楽しく締めていただき、無事終了いたしました。ご参加の皆様ありがとうございました。

平成 29 年度第 1 回「レイカ瀬田ミーティング」開催

“魅力ある瀬田地域を目指して” 山口 玄洞（27 期 園芸・瀬田月輪）

平成 29 年度の最初のミーティングを平成 29 年 5 月 15 日（月）13 時 30 分から、瀬田東市民センターで行いました。今回から、瀬田地域の小学校訪問の報告会を昨年度までは別途に設けていましたが、今年度より小学校訪問報告会を兼ねての開催となりました。資料は 30 部準備しましたが、残念ながら出席者は 23 名でした。ミーティングは、輪番当番である月輪地区の中村理事の議事進行と書記栗田幹事のもとで定刻に始まりました。

最初は、回覧する資料の内①「平成 29 年度レイカ瀬田小学校応援活動体制」について、役員退任者 2 名がおられるが、推進体制では昨年と同様にこの 2 名も推進体制に入って頂いた。②“明日をになう子どもたちを見守りたい”「小学校応援活動」案内のレイ大掲示ポスターの説明を行った。



次に案内状通りの議題に従って進行しました。主だった内容のみ紹介いたします。

1. 大津支部役員会の報告のなかで「レイカディア大学 40 期生募集」要領の瀬田地域 4 学区各自治会回覧（計 67 自治会、1,561 組）を実施する事に対して、サポート隊員から、レイ大をサポートする立場から同窓会活動に対して非常にありがたいと感謝の言葉がありました。
2. 平成 28 年度小学校応援活動（総合）報告について、28 年度の活動状況の現状維持からと、多くの退会者が出たことも踏まえて、今後の活動姿勢として“魅力ある瀬田地域をめざして”を皆さんに提言しました。これからは、ボランティア活動と併せて集い的な親睦行事を増やして行くことを私から提案させて頂きました。
3. 小学校活動報告のなかで、瀬田南小学校の図書管理班が生徒 20 名からの感謝のメッセージの入った文集を頂いた報告あり、併せて出席者に回覧されました。図書班曰く、このような立派な物を頂いたら“益々頑張らなくちゃ”と喜びを表現されていました。
4. 最後に協議事項に入って、大阪ガスグループ福祉財団の助成金で購入する、剪定用具を収納する収納庫の設置について皆さんと協議をいたしました。次に瀬田地域小学校応援活動の満 5 年を終え 6 年目に入ったことと、その間に剪定回数が 100 回を迎える事に対する記念行事について私から提案しました。出席者の皆さん腰が重たい現状から議事進行役が賛否を求めたところ、出席者のほぼ全員が賛同して頂きました。
5. 次回のミーティングの開催日は 7 月 3 日（月）で輪番当番は「瀬田地区」を確認して定刻通り 15 時 30 分にミーティングを終了しました。



[地域活動に活躍されている会員を訪ねて]

書家として活躍されている内田久代様

瀬田地区にお住まいで、レイ大で書道クラブをご指導下さっている内田 久代様(23期 文芸)の紹介です。平成28年10月にスタートしたレイカ大津支部の文化部の書道サークルを指導されている会場(中老人センター)でお話を伺いました。当日は雨が降っていたこともあって、受講メンバーは8名でした。受講生がそれぞれ手本を下に練習したものや自分の住所地を半紙に勉強した物を提示、それを先生は朱墨で添削されていました。生徒に分かりやすく、筆順や力を入れるハネ、偏・旁のバランス、字の大小のメリハリ等について、分かりやすく指導されていました。指導方針は、生徒が分からない所を丁寧に教え、毎日練習する事、特に筆を毎日持つよう習慣づける事、それでうまくなるとアドバイスする事。



「書」を書くにあたっては、心を落ち着けてやる事が大切で、「書いている時こそ楽しい心境になることである」と上達のコツを話されました。またPC時代に入ってもどの時代になっても、習字で各人ごとに顔が異なるように、字は上手でなくても心で書くので、活字と違いそれぞれ個性が出ている。それ故、書道はいつからはじめても良い、始めようと思った時がスタートであるとの事でした。自分の気持ちを表すには、気持ちを込めて自分の思いのまま大胆に書くこと、きれいな字とは別である等、書道・習字についての思いを一気に話されました。

内田先生は、上田上地区に生誕、結婚して現在の瀬田大江地区に住まれ、同地域はじめ、大津市の民生委員、婦人会の支部長等多くの地域のお世話を経験されました。習字を始められたのは、小学校時代の正月の書き初めや校内書道展などで、先生に褒められたのが切っ掛けで、特に個人指導を受けたことはなく自由に書くのが好きだったと言う事です。人に頼まれたら断れない性格もあって、地域の集まりや公民館や大津市の行事・大会などの式次第、看板や名札など依頼されて書くようになったそうです。寺院関係のかきもの(朱印帳の揮毫)等にも関わられてこられました。なかでも一層の飛躍を求め、大津市の百貨店の進物コーナーに勤務中に、師範・賞状揮毫士の資格を取得、その後退職して、民生委員の仲間から書道の指導を要請され、自宅で書道教室を開設されました。平成12年レイ大に入学 長年書道担当されていた三原・松宮先生の後任として、書道クラブを担当、現在もレイ大生の要望で週2回から3回指導されています。それ以外に、社協や各種団体からの要請で老人福祉施設3か所(コンソルテ瀬田・福寿園・湖南クリニック)他でも指導。施設の人から入居の方が元気になられた、と言われると嬉しくやりがいを感じる、また人に教える事で元気と笑顔をもらい、健康である限り生涯現役で燃焼したいと話されていました。



取材：広報部 大塚 庸行

レイカディア大学 40 期生募集

出願期間：平成 29 年 6 月 1 日～7 月 31 日

今年は記念すべき 40 期生の募集となります。

募集チラシには三日月知事と渡邊学長のコメントや、ポスターでは大学事務局宿久さん作の詩が掲載されています。会員の皆様には「チラシ」を配布させていただきましたので、是非お知り合いの方に口コミで案内をお願いします。皆様のお力添えて母校の発展を願うばかりです。



園芸学科(草津校・米原校)



陶芸学科(草津校)



健康づくり学科(草津校・米原校)



びわこ環境学科(草津校)



地域文化学科(草津校)

5 月 25 日から「レイカ大津のホームページ」の内容・デザインを一新!!

より見やすく、内容も豊富に充実しました。市民に活動を知って貰い協働を PR し、会員には活動の魅力・楽しさを PR し、支部活動に役立つ使用頻度と閲覧率アップを図ります。

レイカ大津のホームページ URL : <http://lacadia-dousoukai.com/>

滋賀県レイカディア大学同窓会 大津支部

地域貢献活動とセカンドライフを楽しむボランティア団体

私たちは滋賀県レイカディア大学を卒業した大津市在住者が地域貢献活動を企画、運営し会員相互の親睦と健康維持を通じて、地域発展への寄与を目的に活動するボランティア団体です。

閲覧者数 000237 人です(2017年5月25日以来)

大津支部の活動紹介

支部会員数(2017/4 現在) 223 人

支部長 岩田 和彦

大津支部予定表

大津支部活動紹介

今期の活動方針

今期の運営体制

大津支部の社会貢献と小学校応援活動集計

大津支部会員の社会貢献活動集計

健康部 地域活動部

研修部 広報部

支部発行機関誌「かわかし」

バックナンバー 号数をクリックして閲覧

1号	2号	3号	4号
5号	6号	7号	8号
9号	10号	11号	12号
13号	14号	15号	16号
17号	18号	19号	20号
21号	22号	23号	24号
25号	26号	27号	28号
29号	30号	31号	32号
33号	34号	35号	36号
37号	38号	39号	40号
41号	42号	43号	44号
45号	46号	47号	48号
49号	50号	51号	52号
53号	54号	55号	56号

会 青道同好会 マジックサークル 絵手紙サークル

行事予定とイベントのご案内
(リストをクリックすると詳細記事が見れます)
ですが未削除の場合は終了しています

こんな活動を実施しました
(リストをクリックすると詳細記事が見れます)

2017/05/22 石山地区南郷小学校で小学校応援活動実施 new

2017/5/11 第10回ゴルフ大会が実施されました new

2017/04/20 大津支部平成29年度(第33回)総会が4月20日に開催されました

予科練に憧れて

藤井 周三郎 (25 期 文芸・瀬田)

昭和 20 年 3 月 12 日薄暗い天気だった。私はこの日に、近所の皆さんに送られて、胸を轟かして、嬉さと感激に、ただ、お国の為にといい、家を出た。どうして、何に乗って行ったかは覚えていない。奈良海軍航空隊奈良分遣隊に入隊する。

奇しくも、この日は大阪大空襲の日で、何人かの人が入隊出来なかった。私達は第 25 期海軍飛行予科練習生として入隊する、満 18 歳。当時、海軍飛行予科練習生（予科練）は我々少年にとっては憧れの姿であった。歌や「ポスター」などで宣伝されて「七つボタン」の勇姿であった。当時（高等 2 年生）は、学校からの推薦で「満州義勇軍」か「舞鶴海軍工廠」のどちらかを選択する。私は舞鶴海軍工廠を選んだ。そして約 1 年後予科練の試験を受け、合格した。数少ない合格者で、本当に嬉しかった事を覚えている。

そして、奈良分遣隊に入隊した。兵舎と云っても奈良天理教を借りた建物で、ただ大きな建物だった。憧れと緊張で、張り切っていたと思う。

三日間ほどして、軍隊の怖さを知るようになる。多分朝は 6 時に起床、就寝は 9 時と思うが（少し曖昧かも知れない）、寝具は「ハンモック」で、これがまた大変。

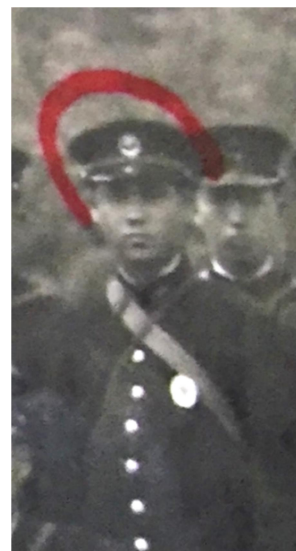
毎日 6 時起床で、直ぐに運動場（一周 600m）を二周して、部屋に帰り、各班毎に食事当番班、清掃班などに別れて仕事をする。食後は色々な話や訓練などで、9 時から本格的に一般教養、数学、作文、航空学、無線及び手旗信号の仕組みなど、学校と違う勉強をした。少ししんどくて、ついて行くのが大変だった。午後は本格的に厳しく、軍人としての陸上訓練をする。特に、無線信号と手旗信号は格別な思いがある。

その後約 1 ケ月後、我々は姫路のとある所に行く。もう勉強どころではなかった。兵舎ではなく学校の様な所で寝起きする事になった。午前は少し軍事訓練をして、午後からは山で穴掘りをする。飛行機の格納庫作りである。毎日毎日同じ事をして、これが軍隊かと思うが命令で頑張る。常に空腹と戦いながら（?）。因みに本物の飛行機は見た事が無い。竹で作った擬似飛行機だけがあった。

5 月 27 日は海軍記念日で午後は休みでご馳走が出て、お腹が一杯になり嬉しかった事を覚えている。

それから 3 ケ月、8 月 15 日終戦となり、9 月に空しく引き揚げてきた。私は何をしてきたのか？

初めての正装で外出、伊勢神宮参拝。
丸印が私（撮影の
年月日は不明）



地域の小学校へ行って来ました

堀口 唯子（26期 生活・日吉）

平成28年10月25日、老人クラブからの依頼で下阪本小学校へ、昔のお話会に行ってきました。学年は三年生です。事前に学校がテーマを決めておかれて、生活・交通・遊びに分かれ教室に入るのですが、私はもう一人の友人と「遊び」を選びました。「遊び」は人気が高く、二教室分になっていたそうです。

当日は校長室が私達ボランティアの集合場所で、時間になったら代表の生徒さんが迎えに来てくれました。早速挨拶をしてくれたのです。「今日は昔のお勉強に来て下さいまして有難うございます」。はきはきと上手に挨拶してくれました。教室では先生が紹介して下さいまして、すぐにお話に入りました。何せ45分授業ですので、あっという間に時間が経ってしまいますから、あらかじめ話すことは頭に描いておかねばなりません、何とか予定通りスムーズに出来ました。お手玉、いろはかるた、福笑い、おはじき、ビー玉等、家にあった小道具は全部持参しました。机の上に並べておいたら、特に福笑いは一番の人気でその次はお手玉、いろはかるたも興味があったようです。

子供たちに話したのは、私らが子供の頃の遊びについてでした。お正月とかに親戚が実家に集まってよく遊んだ事です。二組に分かれてジェスチャーをして物真似をしたり、小さな物を背中で廻していき、誰が持っているか当てたりする遊びもよくやりました。小道具が無くても、いくらでも遊びは考えられて、従兄弟たちでワイワイと時間の経つのも忘れて夜遅くまで遊んだことでした。そうそうトランプで神経衰弱もしましたね。百人一首も読み手と拾い手に分かれて、小さいながらも覚えているお気に入りの札「わがころもではつゆにぬれつつ」を取るのが嬉しいことでした。百人一首で坊主めくりもしましたよ。これら、私が昔に良く遊んだ話をしました。もう一人の担当に交代しないといけないので、最後は少し早口になりましたが、子供達は熱心に聞いてくれました。授業の最後には皆で小道具を使った遊びをしましたが、特に福笑いなどは時間が終わっても大人気でした。京阪電車のラッピングや映画の影響か「ちはやふる・・・」という句を覚えている子もいて少し驚きました。

時代の流れで、今の子供達の遊びはずいぶん変りました。交通事故の心配や、広場の消滅などが原因なのか、戸外で遊ぶことは減り、屋内での遊びは携帯ゲーム機の登場で、様変わりしたようです。その他にも核家族化、少子化なども子供たちの遊び方に変化をもたらしているのかも知れません。もっとも、勉強や習い事で、遊ぶ時間や余裕が少なくなっていることも関係がありそうです。

昔の遊びに共通することは、お互いに顔を見合わせながらワイワイ楽しむということがあります。その結果、集団での人との付き合い方や協調性を学ぶという利点があったように思います。今回お会いした子供さんたちが、昔の遊びを少しでも覚えてくれて、家族や親戚、友達とワイワイ楽しんでいただければ幸いです。

[わが町の歴史]

膳所の町に住んで

釜淵 佳明 (35 期 びわ環・膳所)

古文書を読み解く技量もなく、文献を漁る甲斐性もないので、深みのある文章になるかどうか誠に不安ですが、子ども時代の記憶をたどりながら昭和 20 年代、30 年代を書いてみようと思います。

その頃の膳所は明治、大正、古くは江戸後期の町並みを残した古い町だった。戦争に明け暮れたため、町の進歩・発展などなかったのではないかと。呉服屋、花屋、お茶屋、米屋、荒物屋、八百屋、魚屋、饅頭屋、天ぷら屋、酒屋、仕出し屋等々、今ではスーパーやデパートで集約されている品々が一軒一軒の店で売られていた。これらの個人経営の店々が旧東海道筋に軒を連ね、人の往来も多く（自動車などほとんど走ってなかった）賑やかな、華やいた町だった。

また、それらの店の中には同じ商品を扱う店も多く、共倒れはなかったのだろうか。きっと饅頭屋であれ、呉服屋、酒屋であれ、城主御用達であつたらうし、家来衆の屋敷への

お届けで成り立っていたのではないかと。今も坂本の町に和菓子屋が数軒残っているのは、延暦寺や日吉大社に納入することで生き残ってきたのと同じ成り立ちではと思う。

『大名商売』膳所の商人の売り方をこう呼んでいた。「売ってやる」という意味だ。「いらっしやいませ」「いかがですか」など客に声をかけなくても、客は買いに来るもんで、でんと店頭に座っていれば品物は売れると考える商売の仕方だった。今も名残を留める店がある。

滋賀刑務所がまだ今の膳所団地の場所にあつたので、生涯学習センターのあたりに官舎があり、多くの刑務官が居住していた。その官舎から小学校に通う友達が一人いたので、遊びに行ったことがある。古くいかめしい、そして殺風景な同じ形の家が並んでいて、いかにも『官舎』だった。

軒下のベンガラ格子の前にバツタン床几が残っていたし、うだつが残る家もあった。裏庭まで続く土間のある大きな家が



うだつのある家



旧刑務所の白壁



バツタン床几

何軒も残っていたが、どんどん新築され、往時の面影はほとんど残っていない。草津、守山、近江八幡、彦根等々では昔の町を残そうと頑張っているのに、大津は？膳所は？市民の意識が低かったことが原因であるのなら、我々の責任ではあるが。

【写真はいずれも「城下町膳所」より】

会員文芸

俳句

宇治黄檗山萬福寺吟行

(二九期・文芸)

瀬田 大坪石山

轉りや伽藍整然万福寺

新緑や十八羅漢端坐する

比叡 岡田一也

まるだしの布袋の腹に夏来る

韋駄天の衣ひるがえる若葉風

瀬田 勝田幸川

勾欄の朧くずしや若葉風

肅として七堂伽藍夏に入る

石山 久保貞邦

釈迦牟尼のまわり鎮めて霾ぐもり

活き活きと並ぶ尊像や青楓

(鵜飼敏彦 二七期・文芸)

鬼女の貌闇に煙く薪能

うつし世へ還る一笛薪能

旅装解く異国の宿の薄暑かな

殷墟では甲骨文字の考古学

輕暖石窟壁に飛天舞ふ

甲骨文字

川柳

(梅景 宏 二一期・生活)

かけはして 仲間と紡ぐ 絆かな

利口より 愚直に生きる 難しさ

ありがたや 孫に勅語を 教えられ

小役人 安倍印籠に 忖度す

我が庭に ハ億円の ゴミ眠る

[会員動向]

会員数

大津支部会員数 (6月15日現在) 223名

大津支部事務局からのお知らせ

7月の執行役員会及び役員会の開催はありません。

8月10日(木) 執行役員会 生涯学習センター 9時30分～

8月30日(水) 役員会 生涯学習センター 9時30分～

9月1日(金) 執行役員会 生涯学習センター 9時30分～

9月29日(金) 役員会 生涯学習センター 9時30分～

広報部からのお知らせ

会報誌「かけはし」は年4回発行しており、今回は平成29年9月下旬の発行の予定です。

原稿締め切りは8月29日厳守です。投稿の要領は従来の通りです。尚、58号には会員投稿の掲載はありません。内容は支部全体の活動、各部の活動報告と活動予定、各地域の活動を中心に編集します。投稿の要領はパソコンで作成される場合は、用紙はA4、本文の字体や大きさは、MS明朝体・12ポイント、表題の文字の大きさは14～16ポイントと指定しています。

原稿の文字数は1,200文字以内を厳守下さい。

表題の下部に氏名(期生、学科・地区名)を記入下さい。又、写真などがあれば是非添付して下さい。写真の返却を希望される方は、その旨を写真裏面にご記入下さい。

《原稿送付先》 自筆・ワープロ打ち原稿は郵送またはFAXで

〒520-0052 大津市朝日が丘1丁目15番15号

大塚 庸行 宛 TEL・FAX 077-525-7338

PCメールは 佐瀬 章男 宛 sase@opal.plala.or.jp

松岡 克実 宛 katumatu66@yahoo.co.jp

[編集後記]

本年も本格的な入梅となりました。この5月は早や夏が来たのかと思うほど日本列島は夏日猛暑日の暑さが続きました。比較的涼しいはずの大津市でも30度を記録したそうです。気象庁の3カ月予報では、インド洋上の海域が温められその気流が日本に流れて来るらしく、気温は6月平年並みか高め、7月は平年並みだが蒸し暑く、8月は猛暑と予測しています。

会員の皆様体調管理専一になされ、これからの向暑を乗り切り新年度の支部方針に則り、元気に各種行事を完遂して行きましょう。

編集委員

岩田 和彦(志賀) 西澤 勝(唐崎) 福井 かおる(唐崎) 和田 紀久子(日吉) 大塚 庸行(打出)
住若 富子(打出) 釜淵 佳明(膳所) 松岡 克実(北大路) 脇田 進(石山南郷) 河嶋 文雄(石山南郷)
佐瀬 章男(瀬田北) 中村 健一郎(瀬田月輪) 栗田 昇(瀬田月輪)

レイカディア大学同窓会 大津支部会報 57号(平成29年6月30日発行)

発行責任者 大津支部長 岩田 和彦

編集責任者 広報部会長 大塚 庸行